

新年のご挨拶

公益社団法人 大阪府栄養士会 会長 藤原 政嘉



明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては健やかな新年を迎えられましたことお慶び申し上げます。

平素は栄養士会に格別のご支援、ご理解をいただき、新年に当たりあらためてお礼申し上げます。

昨年は6月の大阪北部地震、9月の台風21号と自然の驚異にさらされました。被害を受けられた皆様にこの紙面を借りてお見舞い申し上げます。今年はこのような天変地異のない平穏な年であることを祈ります。

本会は大阪府民の皆様の健康の維持・増進に栄養・食生活の面から援助する目的でホームページの定期的な更新や府民健康フォーラムの開催、栄養ケア・ステーションの開設など保健衛生の向上に寄与できる事業を展開しております。

また、会員の皆様向けには管理栄養士・栄養士を取り巻く環境が変化する中、現状にあわせた研修、「生涯教育制度」を運営しています。栄養学を基盤とした栄養・食生活マネジメントに関する知識とスキルの向上を図り、他の医療従事者や国民の信頼を高めるため、専門職業人としての管理栄養士・栄養士のミニマムスタンダードとして、①専門職としての職業倫理をベースにした態度や行動をとることができる。②栄養士や管理栄養士が行う「栄養の指導」の本質とその実践形態を理解し説明できる。③栄養ケア・プロセス（栄養アセスメント、栄養診断、栄養介入、栄養モニタリングと評価）の基本を理解し、活用できる。④行動変容の理論と実践について習熟している「カウンセリングスキル」を目標に研修プログラムを設計しております。また、その他各種の委託研修を実施し、数多くの会員に参加いただいております。

特に昨年は「在宅療養者における食を通じた健康支援推進事業」を開催し「地域ケア会議」に参画できる資質を持った人材の養成を行いま

した。今までこの会議に管理栄養士が参画することが少なく、療養者の栄養ケアが疎かになる傾向にあったことから、各自治体から「地域ケア会議」への出席要請が多くなったため、急遽養成講座を開催した次第です。適切な栄養ケアによりADL/QOLの改善と重症化予防を図るため「地域ケア会議」での管理栄養士の発言は重要な位置にあります。

また、並行して在宅訪問を含め、依頼者の立場に立った栄養ケアプログラムを作成する実力をつける所に主眼をおいて、知識と技術の両面が修得できるよう、座学だけでなく実習・演習を取り入れた研修も実施しました。将来的には栄養ケア・ステーションのスタッフとして活躍してほしいと思っております。

本会をご周知のとおり会員の会費によって運営されております。しかし、ここ数年会員数の微減が見られます。組織の強弱は会員数が左右すると言っても過言ではなく、役員一同会員増対策に奔走しており、昨年は新入会員が増加し継続会員が漸減しました。近年は同業の仲間意識や先輩・後輩の意識の希薄さやITの発達により情報の取得は十分に可能になり、会員継続の価値観が薄らぎ、栄養士会会員という意識に変化をもたらせたように感じます。いずれにしましても会員あつての栄養士会です。会員の皆様のご支援をいただき、一人でも多くの仲間づくりをしたいと思っております。ご協力宜しくお願いいたします。

今年は「亥年」です。「亥」は草木の生命力が種子に閉じ込められた状態を表現しているとされています。私たち栄養士会も蓄えた管理栄養士・栄養士の力（生命力）を社会に向かって発散・発揮していきたいものです。

会員の皆様も栄養士会が開催する生涯教育研修会など行事に積極的に参加していただき、情報、知識の獲得とスキルアップを図ると共に、当会の運営に厳しい評価をいただければ有難いと思います。理事一同は目配りとブレナイ会の運営に努力いたします。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念しまして新年の挨拶とさせていただきます。